

2020年3月期 第1四半期 決算補足資料

1. 決算概観（連結）
2. 業績のポイント
3. 主要製品の状況
4. 業績と予想
5. 開発品一覧

【参考資料】

6. セグメント情報

2019年7月31日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社

本資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報により判断した予想であり、将来の業績に影響を与える不確実な要因やリスクが含まれています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。



2020年3月期 第1四半期 決算概観（連結）

（単位：百万円）

	17年3月期 第1四半期	18年3月期 第1四半期	19年3月期 第1四半期	20年3月期 第1四半期	前年 増減率
売上高	27,707	26,458	25,131	25,749	+2.5%
営業利益	3,244	2,595	1,320	1,575	+19.3%
経常利益	3,485	2,805	1,596	1,827	+14.5%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,580	2,393	1,077	1,280	+18.9%

20年3月期 第2四半期予想	前年比	20年3月期 通期予想	前年比
52,100	+3.5%	114,100	+0.4%
2,300	-19.4%	9,100	+1.4%
2,500	-21.5%	9,600	+1.7%
1,900	-14.3%	7,100	+3.4%

20年3月期 第1四半期 連結業績（実績）

【売上高】 主力製品「フルティフォーム」の伸長、新製品「ベオーバ」及び前年に販売移管した「ナゾネックス」の売上寄与により、新医薬品（国内）は前年同期を上回る実績で推移し、新医薬品（海外）の売上も増加しました。他方、後発医薬品の売上は前年同期に対して減少しましたが、医療用医薬品事業合計としては増収となりました。ヘルスケア事業の実績はほぼ横ばいで推移し、全体の売上高は257億49百万円（前年同期比2.5%増）と6億18百万円の増収となりました。

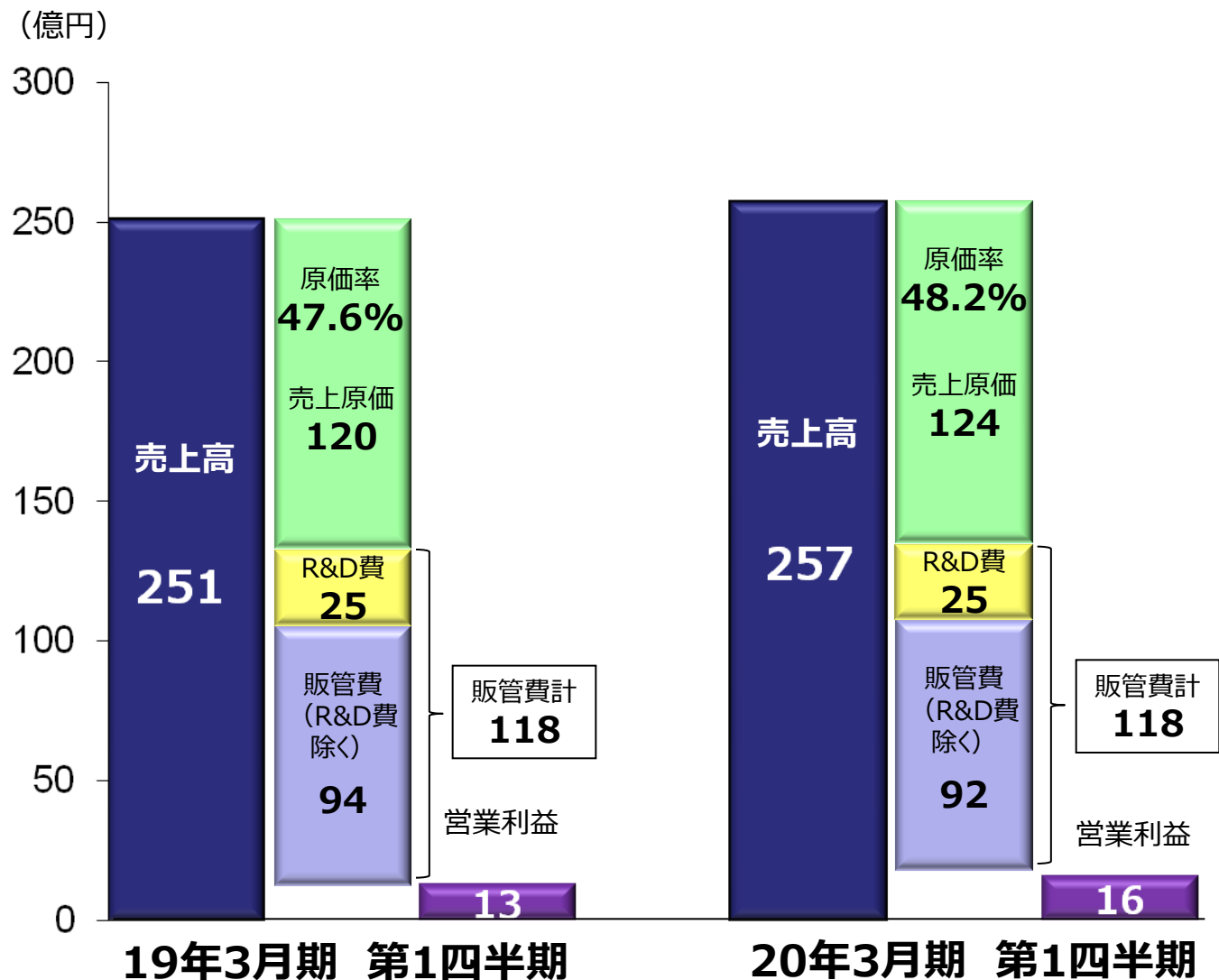
【利益】 新医薬品（国内及び海外）の売上増加等により、売上総利益は前年同期に対して1億67百万円増加しました。また販売費及び一般管理費が前年同期に対して87百万円減少（内、研究開発費67百万円増）したことにより、営業利益は15億75百万円（前年同期比19.3%増）と2億55百万円の増益となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は12億80百万円（前年同期比18.9%増）となりました。

20年3月期 連結業績（予想）

現時点におきまして、2019年5月13日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。
（第2四半期予想に対する進捗度 売上高：49.4% 営業利益：68.5%）

19年5月13日に公表しました配当予想（年間75円/株）の変更はございません。

2020年3月期 第1四半期 業績のポイント



【ポイント】

- 売上高は前年同期比6億円増加
- 売上原価率は0.6%上昇
 - ・プロダクトミクス等

■ 売上総利益は前年比2億円増加

- 販管費は前年同期比横ばい
 - ・R&D費は横ばい
 - ・販管費 (R&D費除く) は減少

■ 営業利益は前年比3億円増加

2020年3月期 第1四半期 業績の状況

(単位：億円)

(対前年)

	19年3月期 第1四半期	20年3月期 第1四半期	対前年
売上高	251	257	+6
医療用医薬品事業	237	244	+7
◆新医薬品	162	171	+9
○国内	161	167	+6
○海外	1	4	+3
◆後発医薬品	75	73	-2
ヘルスケア事業	14	13	-1
営業利益	13	16	+3
経常利益	16	18	+2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	11	13	+2

■売上高	257億円	(+6)
◆医療用医薬品事業	244億円	(+7)
●国内新医薬品	167億円	(+6)
18.6 (1Q)	⇒	19.6 (1Q)
・フルティフォーム	30	⇒ 35 (+5)
・デザレックス	15	⇒ 0 (-15)
・キプレス	33	⇒ 30 (-3)
・ナゾネックス	0	⇒ 17 (+17)
・ウリトス	17	⇒ 16 (-1)
・ベオーバ	0	⇒ 2 (+2)
・ペンタサ	35	⇒ 35 (0)
・ムコダイン	17	⇒ 15 (-2)
●海外新医薬品	4億円	(+3)
●後発医薬品	73億円	(-2)
モンテルカストのAG等の売上が減少		
◆ヘルスケア事業	13億円	(-1)
■営業利益	16億円	(+3)
◆営業利益率は6.1%と前年比0.8ポイント上昇		
●原価率：前年同期比0.6ポイント上昇 (47.6%⇒48.2%)		
* プロダクトミクス等		
●研究開発費率：横ばい (9.8%⇒9.8%)		
* 研究開発費 (25億円⇒25億円)		
●販管費率(除くR&D費)：前年同期比1.5ポイント低下 (37.3%⇒35.8%)		
* 2億円減少 (94億円⇒92億円) 主に販売費の減少		
■親会社株主に帰属する 四半期純利益	13億円	(+2)

2020年3月期 第1四半期 主要製品の状況

製品名		第2四半期		通期		第1四半期（4月～6月）（単位：億円）				
		18年9月 実績	19年9月 予想	19年3月 実績	20年3月 予想	18年6月 実績	19年6月 実績	前年比	中間 進捗率	通期 進捗率
国内 新医薬品	フルティフォーム （喘息治療配合剤）	61	66	131	140	30	35	+16.0%	53.0%	25.0%
	デザレックス （アレルギー性疾患治療薬）	28	—※	37	80	15	0	—	—	—
	キプレス(成人製剤) （気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤）	29	22	62	45	16	14	-13.4%	61.6%	30.1%
	キプレス(小児製剤) （気管支喘息治療剤）	33	27	76	61	17	16	-4.5%	60.4%	26.7%
	ナゾネックス （定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤）	13	31	128	62	0	17	—	53.8%	26.9%
	ウリス（自社販売分） （過活動膀胱治療剤）	35	31	66	60	17	16	-5.8%	51.7%	26.7%
	ベオーバ （過活動膀胱治療剤）	0	7	7	25	0	2	—	34.7%	9.7%
	ペンタサ （潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤）	71	63	135	120	35	35	+1.3%	55.9%	29.4%
	ムコダイン （気道粘液調整・粘膜正常化剤）	31	27	68	60	17	15	-6.9%	57.0%	25.6%
後発 医薬品	モンテルカスト錠「KM」 （気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤）	53	55	119	116	33	30	-9.3%	54.1%	25.7%
一般用 医薬品	ミルトン（哺乳ビン・乳首消毒剤）	11	12	22	23	6	5	-7.2%	43.2%	22.6%

※ デザレックスにつきましては、供給再開の時期が確定しておらず、第2四半期の売上予想を非開示としております

2020年3月期 第1四半期 業績と予想

2020年3月期 第1四半期 業績と予想（連結）

（単位：百万円）

	第2四半期		通期		第1四半期（4月～6月）					
	18年9月 実績	19年9月 予想	19年3月 実績	20年3月 予想	18年6月 実績	19年6月 実績	対前年 増減額	対前年 増減率	中間 進捗率	通期 進捗率
売上高	50,360	52,100	113,620	114,100	25,131	25,749	+618	+2.5%	49.4%	22.6%
医療用医薬品事業	47,581	49,100	107,859	108,000	23,735	24,408	+673	+2.8%	49.7%	22.6%
◆新医薬品	34,028	33,800	78,525	75,800	16,204	17,104	+900	+5.6%	50.6%	22.6%
○国内	34,424	33,400	77,694	74,400	16,057	16,727	+670	+4.2%	50.1%	22.5%
○海外	604	400	830	1,300	146	376	+230	+157.3%	94.0%	28.9%
◆後発医薬品	13,552	15,300	29,334	32,200	7,531	7,304	-227	-3.0%	47.7%	22.7%
ヘルスケア事業	2,779	2,900	5,761	6,100	1,396	1,341	-55	-3.9%	46.2%	22.0%
営業利益	2,852	2,300	8,972	9,100	1,320	1,575	+255	+19.3%	68.5%	17.3%
経常利益	3,183	2,500	9,438	9,600	1,596	1,827	+231	+14.5%	73.1%	19.0%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	2,217	1,900	6,869	7,100	1,077	1,280	+203	+18.9%	67.4%	18.0%

開発品一覧① (2019年7月31日現在)

PhⅢ ~ 承認

※2019年5月13日からの変更点

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (17年4月)		KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社	75mg 1日1回投与で優れた臨床効果を確認 (市中呼吸器感染症・耳鼻咽喉感染症) ・呼吸器、耳鼻科感染症の起炎菌、及びβラクタム系・マクロライド系抗菌薬耐性株に対して強力な抗菌活性を示す ・血漿比10倍を超える肺組織への良好な移行性 高い安全性が期待される ・同系統の抗菌剤で懸念される、血糖値異常、光線過敏症、関節障害、消化器症状などを引き起こす可能性は低い	KRP-AM1977Xについては、追加の非臨床試験を実施中
申請準備中		KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系合成抗菌剤	自社		
申請準備中		KRP-116D	間質性膀胱炎治療剤	—	医療上の必要性の高い未承認薬・適用外薬に該当する「ジメチルスルホキシド」	
※申請		KRP-108P	気管支喘息	英国 ハクテラ社	喘息治療配合剤「フルティフォーム」の小児適応拡大	

・慢性咳嗽治療剤「MK-7264」 MSD社がPhⅢ実施中 販売協業に関する覚書締結 (19年5月)

開発品一覧② (2019年7月31日現在)

POCプロジェクト (Ph I ~ Ph II)

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph II (18年8月)		KRP-N118 (SK-1404)	夜間多尿による 夜間頻尿	(株)三和化学 研究所	バソプレシンV2受容体のアゴニストで、腎臓の 集合管で水の再吸収を促進して尿量を減ら す(抗利尿作用) 有効性と安全性に優れた夜間多尿に伴う夜 間頻尿治療薬として期待されている	(株)三和化学研究所とライセンス契約 (18年3月)
Ph II (18年6月)		Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	岡山大学で発見された新規がん抑制遺伝子 REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞 選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を 誘導することが期待される	産学共同実用化開発事業 [NexTEP]への採択(14年6月) 【米国】桃太郎源(株)が前立腺がんの 臨床試験(Ph I / II)実施中 【日本】岡山大学で肝がんの医師主 導臨床治験 (Ph I / I b)実施中

導出品の状況

開発段階/海外	製品名・ 開発コード	導出先	薬効	起源	特徴	備考
Ph I	FPR2作動薬 プログラム	米国 プリストル・マイヤーズスクイブ社	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を 抑制し抗炎症作用を示す	プリストル・マイヤーズスクイブ社 とライセンス契約 (15年12月)
Ph I	KRP-203	再導出を検討中	移植片対宿主 病 (GvHD)		S1P受容体アゴニスト	ノバルティス社が開発戦略上の 視点から開発中止を決定し、開 発権を返還。

報告セグメントごとの売上高および利益

(単位：億円)

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
合計	257	+6	16	+3
医療用医薬品事業計	244	+7	15	+2
◆新医薬品	171	+9		
○国内	167	+6		
○海外	4	+3		
◆後発医薬品	73	-2		
ヘルスケア事業計	13	-1	1	1
調整額	0	0	1	0